

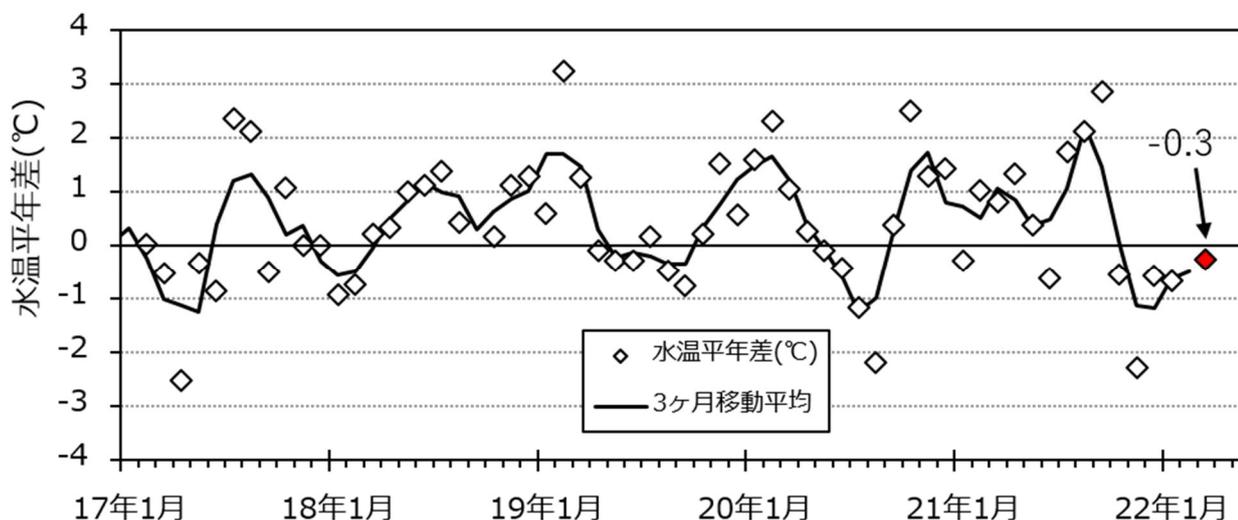
【水温の変動】

3月8、9日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。

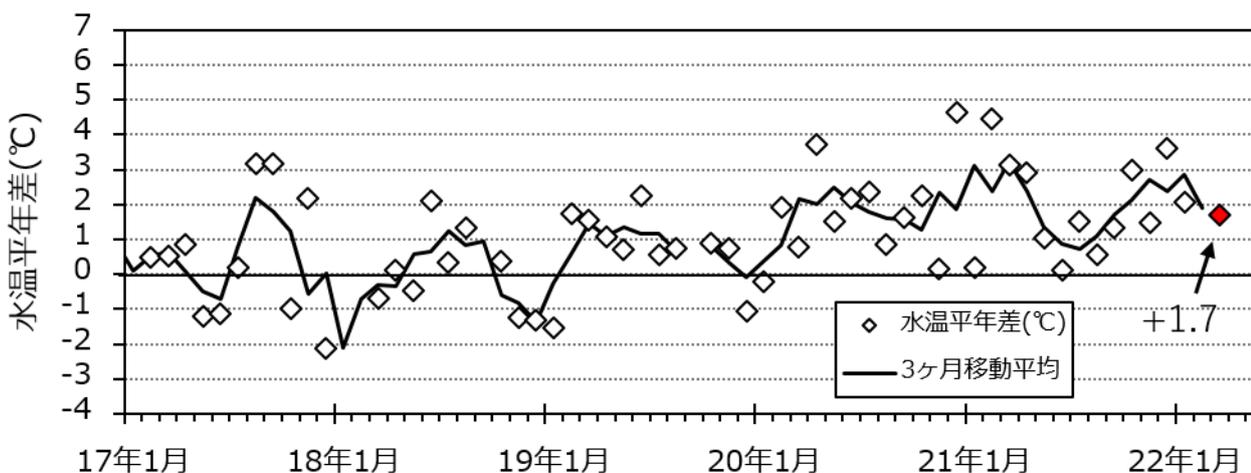
湾口部では平年差 -0.3°C で平年並みとなっています。沖合域は平年差 $+1.7^{\circ}\text{C}$ で高めでした。

3月8日の人工衛星画像によると、黒潮は都井岬沖を東に進み、大王崎沖の北緯31度付近を通り、八丈島の西側を北上して石廊崎に接近し、その後房総半島沖へ流れています。現在、石廊崎沖の黒潮の屈曲部から、遠州灘の沖合に暖水が波及しているため、沖合では高温傾向が継続しています。

湾口部表層（A1）における水温平年差の変動



沖合域水深 200m（A4, A12, A19 の平均）における水温平年差の変動



※水温平年差は過去10年平均値との差

※A19は欠測

【渥美外海の海況】

渥美外海の水温は、表層で11.4~16.5°C、水深100mで14.9~16.8°C、水深200mで13.1~15.1°Cとなっていました。水温の鉛直断面図をみると、渥美外海の水深0~100mは、ほぼ均一な水塊となっています。等温線に目立った傾きはありますが、やや東向きの流れがある模様です。また、湾口部で熱塩フロントが形成されています。クロロフィルa濃度は、湾口部で高く、渥美外海では低くなっています。

水温の水平分布図と水温、塩分、密度、クロロフィルa濃度の鉛直断面図

